



2013 TUE  
12.24 17:30  
START  
神戸大学国際文化科学研究科  
学術交流ルーム E410



「ベルギーの日本研究 / 日本のベルギー研究の現在」 × 自由討論

## JAPANESE STUDIES IN BELGIUM, BELGIAN STUDIES IN JAPAN

講師 **ディミトリ・ヴァノーヴェルベーク**  
ルーヴァン・カトリック大学 (KU Leuven) 人文学部 日本学科 教授

コメント **岩本 和子**  
神戸大学 国際文化科学研究科 教授



司会 **坂本 千代**  
神戸大学 国際文化科学研究科 教授

- ★ 講演会 × 自由討論 (言語：英語・日本語) 17:30～19:00
- ★ 懇親会 (Xmas パーティ) **飲食物持寄歓迎** 19:15～21:00  
講演会場で行います。主催者側でも用意しますが、参加者のみなさんも食物や飲物を持ってきて下さることを歓迎します。

★ お問合せ  
岩本 和子 (異文化研究交流センター 国際部 部長) Email: iwamotok@kobe-u.ac.jp



## ★ 講演・討論内容

EU エキスパート人材養成プログラム枠で本研究科・学部の集中講義に来られるディミトリ・ヴァノーヴェルベーク先生に、EU の中心に位置し EU 研究はもちろん、ハイレベルの日本学教育・研究が行われているルーヴァン・カトリック大学での、またヨーロッパでの、日本研究の最前線について語っていただきます。またこの機会にベルギー、とりわけフランダース地方とルーヴェンの魅力についての紹介もして下さいます。(英語)

コメンテーターは、日本ではマイナーなベルギー地域・文化研究の最前線について、近刊の『ベルギーとは何か？——アイデンティティの多層性』をもとに紹介し、また『フランダースの犬』や『青い鳥』などの日本独特な受容についても考えます。(日本語)

日本とベルギーの知られざる特色や関係を、参加者のみなさんも交えて自由討論の形で探っていきます。(英語・日本語)

## ★ 講演者紹介

### ディミトリ・ヴァノーヴェルベーク Dimitri Vanoverbeke

ベルギーのルーヴァン・カトリック大学 (Katholieke Universiteit Leuven) で博士号取得。現在、同大学日本学科教授。神戸大学との学术交流、国際文化学部・研究科との交換留学およびダブルディグリー・プログラム(研究科博士前期課程)の窓口を担当。東京大学法学研究科に留学、九州大学助教授を経て、現在両大学の客員教授も務める。専門は司法政策、近現代日本の法制度、法律・政治・社会の関係、東アジアとの協力関係、日欧関係など。多くの著作・論文があり、最近の主なものに Recht en instellingen in Japan: actuele thema's in een historische context [Law and Institutions in Japan: Contemporary Issues in a Historical Perspective]. Den Haag, Leuven: Acco publishers, 2010. Judicial reform in Japan. 2009 Special issue of the journal Zeitschrift Fur Japanisches Recht/ Journal of Japanese Law (volume 14, issue 27). (Vanoverbeke, D., Hamano, R., Ozaki, I., Maeschalck, J., Parmentier, S., Eds.). Hamburg: Carl Heymanns Verlag, Max Planck Institute for Comparative and International Private Law. EU-Japan Relations, 1970-2012: From Confrontation to Global Partnership, EU-JAPAN RELATIONS 1970-2012 (Routledge Contemporary Japan), (Dimitri Vanoverbeke, Jorn Keck, Franz Waldenberger), Routledge Chapman Hall, 2013.

### 岩本 和子 Kazuko Iwamoto

神戸大学大学院文化学研究科博士課程単位取得退学。文学博士。専門はフランス語圏文学・芸術。ベルギーの文学・芸術活動およびスタンダードなどに関する著作、論文多数あり。主なものに単著『周縁の文学——ベルギーのフランス語文学にみるナショナリズムの変遷』(松籟社 2007)、『スタンダードと妹ポーリーヌ』(青山社 2008)。共著『欧州諸国の言語法——欧州統合と多言語主義』(三元社 2005)。共訳『スタンダードの生涯』デル・リット著(法政大学出版局 2007)。共編著(岩本和子/石部尚登)『ベルギーとは何か？——アイデンティティの多層性』(松籟社 2013.12)。

## 会場への交通

阪神電鉄「御影」、阪急電鉄「六甲」、JR「六甲道」下車。

各駅前の停留所より、神戸市バス16系統「六甲ケーブル下」行に乗車。「神大国際文化学部前」下車。徒歩3分。阪急「六甲」より徒歩で20分ほどですが、急な坂道が続きますので、上記バスのご利用をお勧めいたします。

神戸大学大学院国際文化学研究科  
異文化研究交流センター (IReC)  
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1  
<http://web.cla.kobe-u.ac.jp/group/IReC>

